



お元気ですか！
志村 たかよし です

第908号 2018年10月7日

日本共産党中央区議団

中央区 築地 1-1-1
電話 3546-5563
FAX 3546-9570

築地市場 まだあと 100年デモ

「築地でええじゃないか、築地しかないじゃないか」



9月29日、海幸橋波除神社前で、築地市場の豊洲移転に反対する訴えを、午前8時から日本共産党中央区議団が、11時から築地女将さん会のみなさんが行いました。

私は「豊洲への移転は築地市場跡地を再開発したいという長年の財界のねらいが大本にある」と批判しました。

正午、築地市場正門に集まった約300人の参加者は、新橋、農林水産省前、日比谷公園へと雨の中をデモ行進し、党区議団をはじめ、吉良よし子参院議員、笠井亮衆院議員が参加しました。



ラップに合わせて賑々しく。小栗議員と奥村議員



怒りを込めて訴える吉良よし子参院議員



「築地市場移転」と「建物解体工事」について区長に申し入れ

都が、強引に進めている築地市場の豊洲移転は、引越しの日が近づくにつれて、これまで指摘されていた課題や新しく浮かび上がった問題が解決されず、ますます矛盾が激化しています。

とても豊洲市場を開場できる状況ではありません。

地元町会を対象に何度も行った解体工事説明会でも、住民の不満や不安は解決することできませんでした。

とくに、工事車両の出入りやネズミ対策の問題は、地元で深刻な影響を与えることは必至です。

これらの問題を解決することなく、このまま「移転」「解体」を進めてしまえば、市場流通や消費者、生産地へ深刻な影響を与え、将来へ大きな禍根を残すことになります。

日本共産党区議団は、9月27日に「19年度予算要望書」



9/27 私（左）と区長（右）を交わす「激論」
の提出に合わせて、築地市場の延期、および、解体工事の延期を都に求めるよう区長に申し入れしました。
吉田副区長は「移転にもない、様々な問題が起きることには認識しており、区としてしっかり対応していく」と答えました。

「築地市場移転」と「建物解体工事」について区長に申し入れの内容

- 農水省が認可の前提条件にしている「関係者の幅広い合意」「土壌が汚染されていないことの科学的な証明」がクリアできていないことをふまえ、豊洲
- 市場開設認可を取り消すよう国に求めること。
- モニタリング調査でもベンゼンが環境基準の170倍という高濃度で検出するなど、土壌汚染は依然として深刻な状況であり、都知事に「安全宣言」を取り消すよう求めること。
- 豊洲市場のひび割れ・段差等の原因解明と、地盤沈下による影響を調査・公表させること。
- 効果に疑問のある地下水管理システムの機能について、徹底した検証をおこなうよう都に求めること。
- 追加対策工事の有効性の確認を、公開の専門家会議で行うとともに、多くの科学者・専門家によるクロスチェックを行うよう都に求めること。
- 移転を中止し、築地市場の現施設について、早急に耐震診断、耐震補強、老朽化対策を行うよう都に求めること。
- 市場関係者を主役に据え、英知を集めて築地市場再整備を再検討するよう都に求めること。
- 日本 ICOMOS 国内委員会による「日本の20世紀遺産20選」や、日本における「DOCOMOMO 100選」に選ばれた築地市場の建物を、保存・活用して再整備すること。
- 環状2号線に関わる工事は中断するよう、都に求

めること。

- 区が移転を容認した責任を自覚して、移転に伴い廃業する区内飲食店や関連業者への相談窓口の開設と生活支援をおこなうこと。
- 移転に伴う区民や区内業者への被害が明らかになった場合、その補償等を都に強く求めること。
- 仲卸事務所移転による空室増加への対応・相談を区が親身におこなうこと。
- 移転に伴って解雇された区民への生活支援をおこなうこと。
- 移転にともなう客足減を理由に場外市場から撤退する店舗を減らすための対策をNPO、都市整備公社とともに検討すること。
- 築地魚河岸の運営や財政状況、利用客の増減傾向などをこまめに把握し、議会に適宜報告すること。
- 解体工事に伴う、地域からの苦情、相談について、都の対応を待つまでもなく、区として迅速な対応をとること。
- ネズミ対策として、捕獲機を町の随所に設置すること。
- ネズミの拡散を防ぐため、建物全体を密閉し封じ込めて駆除するよう都に求めること。
- 冷蔵庫解体時のアンモニア流出を想定した避難シミュレーション等の対策をたてること。
- 築地市場解体工事の延期を都に求めること。